

健康 みらい

7・8月号

キノコ情報
かわら版

健康をつくる
街の薬局が生きる道は、
お客さまの望みを知ること

新しい時代のおトクな薬局活用法は



群馬県の城下町館林市はいま花の季節、ツツジは盛りを過ぎましたが、アジサイ、ハナショウブが満開です。白井薬品(株)は館林市で30年の営業実績があり、現在は白井佳長先生、ミヨコ先生御夫妻が二つの店舗でお客さま相手に毎日奮闘しておられます。お二人に街の薬局がめざす新しい薬局の姿についてお話をうかがいました。読者の皆さんが街の薬局をご活用いただく参考になれば幸いです。

マイ薬局を目標に
やってきました

いまは本当に大変な時代です。「百年に一度の大変革」だとも言われているようですが、そうかも知れませんが、薬局に限っても、大規模ドラッグストアの進出やチェーン店化をはじめ、私も街の薬局にとって、逆風が強くなるばかりでしたが、そんななかで私どもが生き残ってこられたのは、お客さまのための薬局をモットーに、なによりお客さまが何を望んでおられるのかを、素早く、正しく知ること努めてきたからだと思えます。

具体的にお話すると、まず第一に、私ども街の薬局はご近所の皆さん、地元の皆さんとのきめ細かいお付き合いが可能です。お客さまが生活習慣病にならないために必要な情報、子供さんの病気や生活に

白井佳長先生 千葉大学薬学部卒。医薬品メーカー勤務の後、家業の白井薬品(株)入社。平成7年より薬局経営にあたる。現在「上毛新聞」に「自然治癒力の最前線」を連載中。
白井ミヨコ先生 東京薬科大学卒。佳長先生と結婚後、白井薬局仲町店の運営にあたる傍ら、漢方・健康食品の勉強を続ける。



大切な知識などを手軽に入手できる、いわば「マイ薬局」街の健康ステーションとして活用していただけるということ。核家族化・高齢化はここ館林でも例外ではなく、お年寄が一人で暮らしておられたり、若いお母さんが育児に苦労しておられたりということが少なくありません。そんな場合にも、お子さん代わり、先輩お

2ページに続く

母さん代わりとして適切な知識・アドバイスを提供できます。大事なことは、やはり私どもの受け入れ態勢と申しますか、お客さまの声なき声をちゃんと聞くということに尽きると思います。

私自身は大学卒業後、医薬品メーカーを経て、父の会社に入ったわけですが、当時は農業関連の事業の方に携わっていました。その後、私が社長に就任、平成7年には成島営業所を薬局に改装し、本格的に薬の勉強を始めました。俗に云う五十の手習いでしたが、それも昭和四七年に結婚したミヨコが仲町店を切り盛りしてくれ、薬局営業の基盤を築いてくれたからです。

オンリーワンの柱は 本物の健康食品

第二に、個性ある薬局、地元オンリーワン 薬局をめざしてきました。その重要な柱が健康食品です。私どもは開業当初から、漢方に力を入れてきましたが、さらに健康食品についても、よそに負けない勉強を続けてきました。健康食品についていちばん大事なことは、お客さまには本物だけを勧めるということです。本

物の意味は、効果の点でお客さまを裏切らない、また、副作用がないもの、ということになりましようか。お客さんの身になれば、そんなことは当たり前ですが、薬局以外の販路でいい加減なものが売られていたり、日本の健康食品事情は問題山積というのが現状です。

アクチノンの場合は、その点でも、『健康みらい』創刊号でも報じられていましたが、長野県農村工業研究所と国立がんセンター研究所の研究チームが行なった調査で明らかになったように、「エビデンス」（科学的根拠）がありませんし、原料についても、長野県産エノキタケとブナシメジを使用しているところから、心配ないということ、お客さまに自信をもってお勧めすることができます。

高齢化は今後さらに急速に進むわけですが、そうなると、終末医療、患者さんのQOL（生活の質）の問題がますます大きくなっていくでしょう。「ガンと共存して生きる」患者さんのサポートについて、私どもも街の薬局の果たす役割、また健康食品の意味もまた小さくないと考えています。アクチノンについて、お客さま

の具体的な例を二つご紹介いたします。

Aさん 3〜4期の肺ガンの患者さん、場所が悪く手術ができないと言われました。アクチノンほか数点を服用した結果、「抗ガン剤の副作用も出ないし、髪もぬけない。確かにいいようです」とおっしゃっています。1年経過しましたが、元気で。

Bさん すい臓ガンの患者さん、1か月後に手術の予定ということでしたので、アクチノンほか数点を手術前から服用するよう勧めました。手術後、職場復帰を果たされ、1年を経過しています。

読者プレゼントのお知らせ

PRESENT

アクチノン試供品プレゼント

ご希望の方すべてにアクチノンの試供品1週間分をお送りいたします。

からだにいいものプレゼント

編集部にご意見、ご要望など、お便りをくださった方のなかから、年2回（9月・3月締切）5名の方に健康に役立つ品物（5,000円相当）を差し送ります。

いずれも郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記して、下記、本誌編集部まで、郵便またはFAXでお寄せください。

〒141-0022東京都品川区東五反田5-22-37 1108 FAX 03-3445-0957



白井薬局成島店
〒374-0051群馬県館林市新栄町1866
電 0276 74 2410

白井薬局仲町店
〒374-0029群馬県館林市仲町10-7
電 0276 74 5431
E-mail shiraip@cam eo.p la.or.jp

払い過ぎた医療費を取り戻そう！

知らないで損する「高齢者高額医療制度」

5月25日(火)午後1時5分から放送のNHKテレビ「スタジオパークからこんにちは」をはじめ、各全国紙でも取り上げられましたので、すでにご存じの方もおいででしょうが、「高齢者高額医療制度」といっても、(それなんのこど?)とおっしゃる向きも少なくないのではないのでしょうか。

一昨年¹⁰月からは高齢者も原則的に医療費1割を負担するようになりましたが、その際、患者負担を軽減するために導入されたのがこの制度で、原則として70歳以上の高齢者は、1か月あたりの自己負担額が外来で1万2千円を越えた分の医療費は、市町村に申請すれば、払い戻しを受けられる、というのが趣旨です。

ところが、厚生労働省が行なった調査によると、制度導入から半年間だけで、⁶⁹億6千万円余が「未支給」、つまり払い戻すべき医療費が払い戻されないままになって

いることが明らかになったのです。なぜ、このようなことになるのかと言えば、やはりこの制度を知らない方が多いからでしょう。高額医療費を払い戻す制度は以前からあったのですが、この「高齢者高額医療制度」は一昨年に新しく設けられたもので、役所としてもとりたててその周知徹底を図ろうという考えはなかったようです。



医療費の流れについて、簡単にまとめると、公的医療保険(国民健康保険など)による医療費について、医療機関(病院・医院など)はまず原則3割を窓口で患者から受け取る。残り7割は「診療報酬明細書」(レセプトといいます)という書類をつくり、患者が加入している健保組合などに請求。組合はレセプトに間違いがないかチェックした後、正しい額を支払います。単純な計算ミスの以外に、「過剰な」とか「不適切な」治療のチェックが行なわれ、減額査定がされるというわけです。

70歳以上の患者の場合は、外来窓口で月1万2千円以上支払った場合は、払い戻しが受けられる決まりになっている(たとえば、支払額が1万8千円なら6千円)わけですから、あてはまる方はぜひ払い戻しを受けていただきたいと思えます。ご夫婦の片方が入院しておられる場合などは、さらに払い戻しが多くなることもありま

す。(払い戻すのなら、最初から余計なを支払いをしなくてもよいようにしてくれ)というのが理屈ですが、そういう決まりになっているのではありません。

いまのところ、ほとんどの市町村では、払い戻しを受けるには窓口に行く必要があります。岐阜県一宮市のように、全員に通知し、払い戻しも振り込みができるところもあり、他のところもそうなるのが望ましいのはいうまでもありませんが、いずれにしろ、一度、役所の老人保険担当の窓口にお問い合わせってみる方がよいでしょう。

なお、払い戻しの時効は2年間です。それまでに手続きを終えなければなりません。

最後に、ひとことお詫びとおことわり。「高齢者」という用語に関して(おおきなお世話)とおっしゃる向きがあるのは当然で、もっと違う言い方はないものかとも思いますが(これほどの金額が払い戻されないままになっているのには、ひよっとすると、このことが関係しているのではないのでしょうか)、とはいっても、役所に伝えさせるわけにもいきません。ご理解ください。

極上 上吉

第3回

廣重版画は江戸の ヴァーチヤル・リアリティー

とって最も大事な宗教行事だったので。これと対になっているのが正月のお祝いで、こちらももともとは冬至に合わせて行なわれていたわけです（ちなみに「クリスマス」も本来は同じ意味です）。たなばたという、笹かざりがつきもので、今は叶えてもらいたいお願いを書いて、笹の葉に結ぶということになっていますが、これも本来のかたちからは少し変わっているようです。もともとは祖霊に対する目印というか、（こちらの方は準備が整いまいから、どうぞお越しください）とい

現在では、たなばたの本来の役割はお盆が受け持ち、七夕はもっぱら子供用の行事となっていました。廣重の「名所江戸百景・市中繁栄七夕祭」を見ると、瓢箪や西瓜のかざりなど、この頃にはもう現代に近いかたちになっているようです。ここでは、ひとつ江戸市民になったつもりで、この風景のなかに入り込んでみましょうか。なにより違うのは自動車の騒音と排気ガスがないことです。どこか下町の繁華な場所に立って見上げると、屋根より高く抜き出た無数の笹かざりが



眺めていた廣重が、私たちのために残してくれたヴァーチヤル・リアリティーを起動させれば、日本人の宗教のかたちをいくらかでも体感することができるのではないのでしょうか。

今回は七夕のお話です。「七夕」と書いて、「たなばた」と読むのはなぜでしょうか。もともと「たなばた」という言葉があつて、後から「七夕」という字を当てはめたのです。それでは「たなばた」とは何か。まず「たな」は「棚ぼた」の「たな」、「神棚」の「たな」です。次に「ばた」の方ですが、こちらは「幟旗（のぼりばた）」の「はた」ということにおきます。「織り」の「はた」という説もありです。「たなばた」とはもともとは、夏至に合わせて祖霊の降臨を祝う日本人に

う意味で、これが「はた」なのだと思えます。「はた」を通じて祖霊を家の内の神聖な場所「たな」に招くこと、つまりこれが「たなばた」だということとです。「はた」は祖霊を受信するアンテナ、「たな」は祖霊と対面するテレビのようなものでしょうか。東京などでは、現在も正月には笹を玄関口に立てますが、あれも同じです。祖霊といつても私たちには分りにくくなっていますが、外国に住んでいる親戚のような、でもずっと大事な存在とともに過すといつような感じでしょうか。

風になびき、この世ならぬものの声から降りてくるようです。西の空が赤く染まっていますから、間もなく暮れ六つの鐘が響き、あたりは仕事仕舞いの慌ただしい気分が占められるのかもしれないせん。

私たちが江戸時代のことを考えるとき、なかなか理解しづらいことのひとつが、江戸の町の濃密な宗教的な雰囲気だと思えます。「日本人は無宗教」などという人が今でもいるようですが、今から百五十年ほど前、幕末の大変動を迎える直前の江戸を哀惜の眼差しで

*ご意見、ご要望など何でもけっこうです、編集部あてお寄せ下さい。

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-22-37-1108 FAX 03-3445-0957

健康みらい 編集部

発行 平成16年7月5日



アクチノンは、エノキタケおよびバナシメジからの熱水抽出物、EEMを主原料とする植物性多糖類加工食品です。健康な毎日のため、日2錠を目安にお召し上がり下さい。

東京生活医学研究所
TEL 03-3445-0944 FAX 03-3445-0957

キノコの健康力。